

2018年度 エクセレントNPO大賞 Excellent NPO Awards

第6回 募集要項

「エクセレントNPO大賞」は、質の向上をめざし、
自己評価を行いながら改善につとめる非営利組織を応援し、
その活動が社会に「見える化」をすることを目的としています。



世界的な彫刻家安田侃氏の監督の元、自然と人と芸術の新しいあり方を模索し、人の心を深く見つめる時間と空間とともに、様々なボランティア機会を市民に提供しています。

アルテピアッツァびばい
(北海道美唄市)



Learning for All
(東京都新宿区)

学習や生活面、発達に困難を抱えた子どもたちが自立するために、必要な力をつけることを目的として、質の高い学習機会・育ちの場を提供しています。



ホームホスピス宮崎
(宮崎県宮崎市)

自宅で人生を全うすることを願う患者と家族を支援するために、医師、看護師、介護職、患者や遺族らが中心となり発足した在宅ホスピス支援センター事業で、全国に広がっています。



《主催》



「エクセレントNPO」をめざそう市民会議

(認定NPO法人 言論NPO内)

《共催》  毎日新聞 

《協賛》 住友商事(株) 野村ホールディングス(株) 日本生命保険相互会社 日本たばこ産業(株)
(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ (株)りそなホールディングス

《協力》 (株)LITALICO

《後援》 内閣府 文部科学省 総務省 ドラッカー学会

審査について

「エクセレントNPO大賞」の審査は、応募者の皆様と同様にエクセレントNPO評価基準を用いて行われます。

◎本賞応募の際の自己評価基準

●市民性

- ボランティアの機会が人々に開かれ、その活動内容はわかりやすく伝えられていますか。
- ボランティアが仕事を始める前に、その内容や量、時間帯、期間について話し合って合意をしていますか。またボランティアが始まった後も対話の機会を作っていますか。
- 寄付者に安心感を持ってもらえるように寄付の使途や成果などについて報告をしていますか。
- あなたは、活動に加わる参加者(会員、寄付者、ボランティア等)に対し、あなたの組織の活動を通じて社会的課題への気づきや共感を得て共有する工夫をしていますか。

●課題解決力

- あなたの組織は取り組んでいる問題やテーマを把握し、明確に理解していますか。
- あなたの組織は取り組む課題の背後にある原因や理由を見出そうとする姿勢や視点を持っていますか。
- あなたの組織は取り組む課題のみならず、それに影響している制度や慣習など、社会の仕組みにかかわる問題解決も視野に入れていきますか(社会的インパクトの視点)。
- あなたの組織は、事業を予定どおり実施したことだけでなく、事業の対象(人および自然環境などの人以外のものも含む)へのプラスの影響や変化を成果として目指していますか(アウトカム目標)。
- リーダー役を担う者は、課題解決のために中心的な役割を担い、また組織内外の専門家、資金などの資源を組み合わせ、それらをうまく機能させるためにコーディネーション力を発揮していますか。
- あなたの組織は、目標(アウトカム目標)に基づき成果を出しており、それを根拠(データや事例)をもって説明できますか。
- あなたの組織が取り組む課題、使命や目標を広く社会に理解してもらうよう努めていますか。

●組織力

- 組織の全体像が明確に説明されていますか(HP等に、組織の目的、活動内容、連絡先、事業報告書、会計報告書、役員一覧等が説明されている)。
- 広く多様な主体から資金を集め、特定の資金源に過度に依存するリスクを回避できるように収入多様性を維持していますか。
- 資金調達のプロセスは透明で、公序良俗に反する行為による資金は受け取っていませんか。
- 組織の独立性、中立性を維持していますか(これは政府、自治体、企業、寄付者、他団体などとの関係を否定するものではありません。むしろ、こうした主体との協力や議論が大事だからこそ、自らの立ち位置の中立性や独立性が確保されていることが肝要であるという意味です)。

* 本表彰は自己評価が適切に行われたかを重視して審査が行われます。全項目において満点をつけるのではなく、組織や活動における課題を見据え、その課題を克服するための工夫や対応を示すことが重要です。こうした点に注意して適切な自己評価結果を記してください。

* 応募用紙をダウンロードしていただくと、項目ごとに自己採点時の注意点や評価のポイントが記されています。記述の際にご参照ください。

* ご不明な点やご質問は、メールアドレス(enpo@genron-npo.net)までお問い合わせください。